

幼児教育・保育長期研修計画書

原 籍 校 名	下関市立西市小学校	研 修 生 氏 名	山本 真由美
研 修 派 遣 園 名	下関市立西市こども園	代 表 者 名 (派 遣)	植田 裕恵
研 修 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
研 修 テ ー マ	幼児期から児童期におけるなめらかな接続のための支援や指導の在り方について		
具体的研修計画	<p>1 研修目的</p> <p>○幼児期の遊びを通じた学びを理解し、小学校以降の教育につながる双方向性のある支援の方法について研鑽する。</p> <p>2 研修内容</p> <p>○子ども一人ひとりの主体性を引き出す環境構成の工夫や支援の仕方について</p> <p>○幼児期における特別支援教育について</p> <p>○架け橋期のカリキュラムの作成</p> <p>3 研修方法</p> <p>○園の職員とコミュニケーションをはかりながら、子どもたちが主体的に生活や活動をしている場面を捉え、観察・記録していく。</p> <p>○こども園や保育所などでの保育補助や観察などを通し、全体の活動の中での配慮を要する子どもへの支援の仕方を検討・協議する。</p> <p>○専門機関やこども園、小学校など各機関と連携しながら、相互の教育内容や教育方法をもとに、架け橋期のプログラムを立案・作成する。</p> <p>4 研修計画</p> <p>[派遣園での研修]</p> <p>1 学期 ・主に年長・年中児の発達及び生活の様子を知り、子どもの心身の成長過程に応じた支援の在り方を学ぶ。</p> <p>・個に応じた支援の仕方を観察し、記録する。</p> <p>2 学期 ・乳幼児期の6年間の発達及び生活の様子を知り、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を検討する。</p> <p>3 学期 ・これまでの記録や実践を踏まえ、架け橋期のプログラムを作成する。</p> <p>・小学校生活を円滑にスタートするための支援方法について考察する。</p> <p>[派遣園以外での研修]</p> <p>○県が指定する研修（7日）</p> <p>○指定園での研修（2週間程度）</p> <p>○原籍校、教育委員会、幼児教育・保育主管課等での研修（年間40日程度）</p> <p>・原籍校での報告、研修等</p> <p>・市町教委での報告、研修等</p> <p>・他の教育施設、小学校等での研修等</p> <p>・特別支援教育に関する研修</p>		

